

「坂元中学校のせばる隼人舞伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立坂元中学校

2 学年・人数

1年生（計・・・38人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年6月～11月

(2) 発表の日時・場所

令和4年10月28日（金）第44回文化祭（本校体育館）

令和4年11月23日（水）第30回せばる隼人舞祭り
（坂元台小学校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

せばる隼人舞（せばるはやとまい）

(2) 由来

今から約1500年前、南九州の川内、南薩、国分地方に住む部族間で抗争が絶えなかったため、平和に暮らそうと話し合い、歌と踊りで仲良くしようと、丁度中心地である鹿児島の坂元村おとん山で舞の練習や神を迎えてのお祭りをしてきたことをきっかけとしたもの。

(3) 構成等

【神招の舞】清めた舞の庭に月読神，天つ神，国つ神，八百万の神々を招く

【弓の舞】狩猟の豊かさを祈る

【松明の舞】火を敬い，神に感謝する

【猿女の舞】邪を払う

【杵舞】五穀豊穰を祈り，餅をふるまう

【十二剣舞】都の門を守護し，魔をはらう

【せばる隼人舞】神に平穩無事を祈願し，自らを鼓舞する

【序の舞】会場を清める

※本校では，毎年【松明の舞】を伝承している。

5 保存会や地域との連携の具体

地元である坂元町にある「せばる隼人舞保存会」と連携して，1年生が総合的な学習の時間における郷土教育の中で，せばる隼人舞の伝承や歴史について学び，【松明の舞】に取り組んでいる。学校の文化祭や地域で開催されるせばる隼人舞祭りで発表している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

笛、締太鼓、竹太鼓の伝統的なリズムと古式にのっとった所作を合わせるため、「せばる隼人舞保存会」から講師の方に繰り返し来校してもらって練習に取り組んでいる。

7 取組の様子



8 参加した1年生徒の感想

- 「舞の庭」を4人の舞手が飛び跳ねながら一周するところが難しく、背中合わせに飛ぶところで他の人とぶつかったり、間隔があきすぎたりして、何度も確認しながら練習しました。
- 仲間と協力して作り上げた舞台は、とても楽しく思い出に残りました。今後も私たちの住む地域の祭りとして、末永く受け継がれてほしいと思います。
- 坂元地区に受け継がれている伝統行事「せばる隼人舞」にかかわることができてうれしかったです。坂元の歴史や楽器についても学ぶことができて思い出に残る取組でした。
- それぞれの楽器で音を合わせて協力して演奏する楽しさを学びました。坂元地区に伝わる伝統を次の学年に繋いでいくことが大事だと感じました。
- 小学生の時から関わっている「せばる隼人舞」に中学生になっても参加することができてうれしかったです。これからもこの伝統が続いていくように学んだことを受け継いでいきたいと思っています。